



2014年4月

第5回あしながクルーズ『大岡川チャリティお花見クルーズ』報告

株式会社ピア・フォー

記

- 【開催主旨】 東日本大震災に係り、チャリティクルーズを開催し、乗船料を寄付し震災復興支援に寄与する事、並びに、乗客に海との安全な関わり方を周知する。
- 【開催目的】 株式会社ピア・フォーは、船の運航を通じ、港や海に親しみ、その安全・発展に寄与する事を目的に事業を行っている。東日本大震災では、特に津波被害により、家族を亡くした子ども達が多く存在していることから、彼らを支援すべく、『あしながクルーズ』を開催し、乗船料の全額をあしなが育英会の行う「東日本大地震・津波遺児募金」に寄付する。
- 【日時】 2014年4月5(土)、6(日)
11:00-11:45 / 12:00-12:45 / 13:00-13:45 / 14:00-14:45 / 15:00-15:45 / 16:00-16:45
- 【乗船料】 大人 2,000 円、子ども 1,000 円 乗船料は全額寄付
- 【乗船者数】 総計 321 名 (大人; 278 名、子ども 37 名)
4月5日(土); 大人 134 名、子ども 24 名
4月6日(日); 大人 144 名、子ども 13 名
ご寄付; 6 名
- 【寄付金額】 合計 657,075 円 (平成 26 年 4 月 22 日寄付)
<乗船料全額、日本酒「磐城壽」売上及びご寄付>
- 【寄付先】 あしなが育英会「東日本大地震・津波遺児支援資金」
〒102-8639 東京都千代田区平河町 1-6-8 平河町貝坂ビル
- 【出航場所】 弁天橋棧橋(桜木町駅前ワシントンホテル裏) 横浜市中区桜木町 1-101
- 【周遊コース】 弁天橋棧橋～大岡川～弁天橋棧橋
- 【船名】 ゴールデンカップ(4月5日)、スターダスト(4月6日)
- 【掲載・取材媒体】
新聞・情報誌・web 媒体;
① 神奈川新聞 2014年3月29日
② ヨコハマ経済新聞 2014年3月31日
③ HaMaWo 2014年3月31日

【総評】

第5回目となる今回も、例年通り、桜の開花に合わせて「大岡川チャリティお花見クルーズ」として2日間12回を運航した。

毎年の参加者に加え、今回は様々な媒体に記事が掲載された事により、乗船希望者が増え、各日3便を増便して対応をしても間に合わない程であり、また、乗船できない参加希望者から寄付が届けられるなど、当チャリティクルーズへの関心の高さはもちろん、震災復興、津波遺児支援に対する依然とした強い想いがうかがえた。

船は満開の桜の下をゆっくり進み、船上は子ども達が保護者や船長、船頭だけでなく、乗り合わせた大人達やすれ違う船の乗船者と声を掛け合い、船や海、自然について語り合うなど、乗船者全員が一つとなって和気あいあいとした雰囲気にもまれていた。当クルーズが、被災地の復興状況や、普段の防災等々を考えるきっかけとなり、津波遺児の支援はもちろん、海の安全に寄与出来る意義は大きいと考えられる。

過去4回と合わせて、参加者累計773名、累計1,469,597円を、あしなが育英会の行う「東日本大地震・津波遺児支援」活動に寄付した。

以上



掲載画像/記事の無断転載等を禁じます。
株式会社ピア・フォー 神奈川県横浜市神奈川区浦島町 380
TEL)045-441-0404 <http://www.yakatabune.jp/>

感謝状

第5回あしながクルーズ 様

貴社におかれましてはかねてより
社会福祉事業に深いご理解を賜っており
このたび東日本大地震・津波で親を亡くした
子どもたちのための資金として多額の
ご寄付を賜り誠に感謝にたえません
ここに謹んで深甚なる謝意を表します

平成26年4月22日



あしなが育英会
会長 玉井 義臣



お 礼 状



株式会社ピア・フォー 様

東日本大震災で犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を捧げ被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

このたびは、東日本大地震・津波遺児支援など本会の事業にご賛同いただき温かいご寄付を賜り誠にありがとうございます。本会は災害や病氣、自死（自殺）で保護者を亡くし、または保護者が重度の後遺障害で働けず教育費に困っている高校生や大学・専門学校生に対し奨学金等の貸与・給付で進学を支援するとともに、小中学生以上の遺児には心のケアを行い、将来、広く人類社会に貢献する人材の育成に鋭意取り組んでおります。

深刻化する不況の影響で遺児家庭の生活はさらに困窮化しており、奨学金等による教育支援は依然として必要です。遺児家庭が貧困から脱出する唯一の途は子どもが就職して自立することです。若者の就職難が続く中、遺児家庭の多くは大学・専門学校への進学を希望しております。

本会は「教育こそが遺児の未来を切り開く」を信念として、保護者からの仕送りなしでも大学進学が可能な学生寮のさらなる充実を図ります。また、遺児が社会に力強く歩み出していけるよう、「奨学生のつどい」や、小中学生遺児を対象とした「レインボーハウス」での心のケア活動にも一層力を注ぎます。東日本大震災遺児のための東北レインボーハウスの建設も始まりました。さらに、神戸の震災遺児の恩返し運動から始まった海外遺児支援においても、世界の遺児一人ひとりの自助・自立へとつながる運動に発展させてまいります。

みなさまのご寄付は奨学金や心のケア活動として遺児の夢や希望になり、世代を超えて引き継がれます。今後とも一人でも多くの遺児が夢に向かって人生を歩むことができますよう、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2014年04月22日

あしなが育英会

会長 玉井義臣

親を亡くした子供たちに、進学という夢を。

あしなが育英会

領 収 証

2014年04月22日

第 225712号

〒221-0042

横浜市神奈川区浦島町 380

株式会社ピア・フォー 様

¥657,075-

但し、東日本大地震・津波遺児支援資金として

上記正に領収させていただきました

あしなが育英会

会長 玉井 義臣

東京都千代田区平河町1-6-8 平河町貝坂ビル
〒102-8639 電話 03-3221-0888

